

## ニュースリリース

### カリプト社が先進的な ESL ソリューションをカシオ計算機に提供

*カリプト社、ケイデンス社と共同でデジタルカメラの設計効率を改善し、  
タイム・トゥ・マーケットを短縮*

カリフォルニア州サンタクララ市 — 2009 年 6 月 9 日 — シーケンシャル・アナリシス技術で業界をリードするカリプト・デザイン・システムズ社は、世界中で幅広い採用実績をもつ SLEC™ System-HLS (High Level Synthesis) が、新たにカシオ計算機株式会社（以下、カシオ）の新しいデジタル・カメラ設計向けのエレクトロニック・システム・レベル（ESL）設計フローに採用されたことを本日発表しました。カシオは、デジタル・カメラの設計効率を改善し、市場への製品投入を早めるため、ケイデンス・デザイン・システムズ社の C-to-Silicon Compiler と共に、カリプト社のフォーマル・ベリフィケーション・ツールを使用することを計画しています。

ケイデンス社とカリプト社の技術の組合せは、設計を抽象度のより高いレベルへと導き、技術者は真の ESL 設計に従事することができるようになります。カシオは、C-to-Silicon Compiler を使用し、SystemC コードから論理合成可能なレジスタ・トランスファ・レベル（RTL）のコードを自動生成し、それを SLEC System-HLS によって包括的に検証します。また、この自動化された ESL フローによって、最終製品が機能的に正しく実現できることを心配することなく、最も良いコストと性能の組合せを提供するために必要なだけ “what if” 解析による検討をおこなうことができます。

「デジタル・カメラはますます洗練され、現在の論理的な設計複雑度は、わずか3年前の10倍にも達しています。」と、カシオのQV事業部 第一開発部 第11開発室室長の黒沢和幸氏は述べています。「自動化された統合ESLフローを導入するまでは、RTLの手設計からシミュレーションによる検証作業に至る工程において、非常に手間のかかる作業を余儀なくされてきました。これは、貴重な開発リソースを消費し、私たちが実現しようとする技術的革新に多大な影響を及ぼしていました。カリプト社とケイデンス社がこれらの複雑な工程を自動化したことにより、我々は設計期間を短縮しつつ、開発リソースを製品差別化のために集中させることができます。」

「設計チームの生産性を向上し、タイム・トゥ・マーケットをより短縮するための取り組みは日々行われています。ケイデンス社のC-to-Silicon Compiler とカリプト社のSLEC System-HLS のインテグレーションは、この需要にこたえるものであることがここに立証されました。これによって、シミュレーションやコーディングよりもイノベーションの達成のために技術者の貴重な設計時間を使うことができます。」とカリプト社CEOのトム・サンドバルは述べています。

**カリプト社、ケイデンス社と協同でSoC設計のために効率化されたESLフローを提供**

ケイデンス社のC-to-Silicon Compilerは、一般的にC/C++やSystemCで書かれるシステム・レベルのモデルとRTL設計とのギャップを埋めます。その際に、設計者はSystemC ESLモデルとRTLインプリメンテーションの間の等価性を形式的に検証するために、カリプト社のSLEC System-HLSを使用し包括的な機能検証を実行することができます。

ます。ケイデンス社とカリプト社は両社の技術を統合することによって、設計者の生産性を劇的に向上する完全に自動化されたシステム・レベル設計ソリューションを提供します。

「我々の顧客は、システム・レベル設計と検証の分野において現時点での最良の包括的ソリューションを持ちます。」と、ケイデンス・デザイン・システムズ社のシステムズ・ソフトウェア・グループのバイス・プレジデント兼ジェネラル・マネージャのマイケル・マクナマラ氏は述べています。「カリプト社の SLEC System-HLS とケイデンス社の C-to-Silicon Compiler の間の密なインテグレーションは、高度な SoC 設計のための標準的アプローチとして急速に広まりつつあり、我々はこれにより最適なフローを顧客に提供します。」

## カリプト社について

2002年設立の米国カリプト・デザイン・システムズ社はその特許のシーケンシャル・アナリシス技術に基づいたクラス最良の消費電力最適化と機能検証ソフトウェアを提供することによって、設計者が高品質で、低消費電力の電子システムを作り出すことを可能にします。カリプト社はフォーチュン500社に入る顧客を全世界に持ち、また、ケイデンス社のコネクション・プログラム、IEEE-SA、シノプシス社のSystemVerilog Catalyst Program、メンター・グラフィックス社のOpenDoor Program、Si2 のメンバーで、Power Forward Initiativeの積極的に参加しています。カリプト社は現在、ヨーロッパ、インド、日本、それに北米の各地域に拠点をもちます。米国本社の所在地は、2933 Bunker Hill Lane, Suite 202, Santa Clara, Calif. 95054。電話: (408) 850-2300 です。当社に関する詳細な情報については、[www.calypto.com](http://www.calypto.com) をご覧ください。

本発表に関する詳細については、以下までお問い合わせください。

カリプト・デザイン・システムズ株式会社  
マーケティング  
山本修作

電話: 045-470-2070

Email: shusaku@calypto.com

FAX: 045-470-2079

住所: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-3-4  
クレシェンドビル 9F

###

*Calypto*、*PowerPro*、*SLEC*、および *Enabling ESL* はカリプト・デザイン・システムズ社の商標です。  
その他の製品名および会社名はそれぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。